

第258回教育研究評議会議事要録

1 日 時 令和6年9月27日（金）13:30～15:00

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 長崎大学名誉教授の選考について

議長から、令和6年6月1日に退職した教授1名について、名誉教授の選考を行う旨の説明があった。

引き続き、当該教授の所属部局長である病院長から、資料1に基づき、本学における業績等について説明があり、投票の結果、名誉教授の称号を授与することが了承された。

(2) 長崎大学名誉博士候補者の審査について

理事（総務担当）から、資料2に基づき、熱帯医学・グローバルヘルス研究科長の推薦を受け、ロンドン大学衛生熱帯医学大学院の元学長でグローバル衛生学教授の Peter Piot 博士に対し、長崎大学名誉博士の称号を授与することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 電子ジャーナル等の契約状況等について

理事（研究・戦略企画担当）から、資料3に基づき、電子ジャーナル等の契約状況及び来年度以降の契約等について説明があり、審議の結果、了承された。

(4) 長崎大学における研究インテグリティの確保に関する規程の一部改正等について

理事（研究・戦略企画担当）から、資料4に基づき、本学の研究インテグリティ・マネジメント体制を整備したことについて報告があった。

次いで、長崎大学における研究インテグリティの確保に関する規程を一部改正すること及び各学部等に専門委員会委員の選出を依頼する旨の説明があり、審議の結果、了承された。

4 報告事項

(1) 令和6年度ハラスメント防止研修（eラーニング）の実施について

理事（総務担当）から、資料5に基づき、アカデミックハラスメント等に関する正しい知識を身につけ、ハラスメントが起こらない職場環境を作るため、管理職員及び教育職員（講師以上）を対象に、令和6年度ハラスメント防止研修（eラーニング）を実施することについて報告があった。

(2) 学長特別賞受賞者選考方法の変更について

理事（総務担当）から、資料6に基づき、学長特別賞受賞者選考に関する手続の効率的な運用を図る観点から、候補者の推薦者を変更するため要項の一部改正を行うとともに、推薦委員会の運用を変更し、理事及び執行役員による事前審査を実施すること、また、令和6年度学長特別賞被表彰候補者の推薦を依頼することについて報告があった。

(3) プラネタリーヘルス学環第2のプログラムについて

理事（研究・戦略企画担当）から、資料7に基づき、プラネタリーヘルス学環第2のプログラム

について、文部科学省への事務相談を踏まえた今後の方向性やWGの設置について報告があった。

(4) 令和7年度運営費交付金配分における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」のための学生の卒業・修了後の進路状況追跡調査依頼について

理事（学生・国際担当）から、資料8に基づき、今年度より、共通指標に係る基礎資料の作成要領に変更があり、学校基本調査の回答時に、卒業・修了時の進路が不明等であった者が、その後の追跡調査等によって、就職・進学者等の要件に該当する者であることが明らかとなった場合については、その人数も含めて計上できることが明示されたため、令和3年から令和5年の学生の進路不明者に係る追跡調査を改めて依頼する旨の報告があった。

(5) 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）の申請内容について

理事（研究・戦略企画担当）から、資料9に基づき、本事業の計画作成にあたっては学長WGにおいて鋭意検討を重ね、7月26日に申請を完了したこと、また採択（来年1月公表）された場合は、全学を挙げて取り組む必要があることから、申請内容について報告があった。

以上